

「華城の百年」

平成元年10月1日発行
～華城百周年記念事業実行委員会編集部～

第7章 「望まれる華城の将来」から

- 1) 飛行場の一部返還と利用
- 2) 清水川・団平川の清流を取り戻そう～ホテル、しじみ（下水道）
- 3) 華城はかつて模範村である（明治44年 内務大臣表彰受賞）
子どもの健全育成に積極的に取り組むこと
- 4) 華城にシンボルゾーンを～地域が一体となった活動の場（学習等共用会館を中心に）
総合福祉施設、子どもが遊べる場所、華城が紹介できる場所
- 5) 「華城の歌」をつくっては
- 6) 文化の伝承について
 - ・ 3八幡宮の特色ある行事（土・日）
 - ・ 開作の多い華城には、民踊・伝踊が少ない（ヤットセ踊り、さる石の奴）
 - ・ 森鷗外の父、森 静男の石碑のピーアール
- 7) 農業共同組合は華城の中核（ほうれん草、春菊、きょうり、正月飾）

まとめ

- 1) 歴史的伝統の美風を大切に
 - ・ 華城～気候温暖、地味肥沃、水量豊富～恵まれた自然
 - ・ 愛郷心、親和協調、相互扶助の民風
- 2) 緑に満ち、花咲き、水清い華城環境の造成に努める
 - ・ 華城は川によって生まれ、川によって育った
（清水川、団平川をよみがえらせる努力を）
- 3) 歴史に学び、21世紀をめざした個性豊かな地域づくりを

心がけ

- 1) 華城モンローになってはいけない
 - ・ 防府の一翼を担い、華城の特色を出していく